

問1 平安時代中期、天皇が幼いときに補佐する役職を何という？

1. 関白 2. 征夷大將軍 3. 太政大臣 4. 摂政

問2 日宋貿易で力をつけた平氏一族が厚く信仰した、安芸国にある神社を何という？

1. 厳島神社 2. 日光東照宮 3. 出雲大社 4. 春日大社

問3 平安時代に地方政治の乱れに乗じて力をつけ、やがて中央政治にも影響を与えた存在を何という？

1. 僧侶 2. 武士 3. 貴族 4. 農民

問4 平安時代の貴族文化において、仏教の教えを絵画や工芸品などを用いて表現したものを何という？

1. 浄土教美術 2. 仏像彫刻 3. 書道芸術 4. 曼荼羅画

問5 平安時代初期に空海らが唐から伝え、当時の貴族や僧侶の間で信仰された、高度な儀式や修行を重んじる新しい仏教の教えを何という？

1. 禅宗 2. 密教 3. 法相宗 4. 浄土教

問6 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？

1. 嵯峨天皇 2. 桓武天皇 3. 光仁天皇 4. 聖武天皇

問7 平安時代初期に、唐から真言宗を持ち帰り、金剛峯寺を建立した僧は誰？

1. 最澄 2. 円仁 3. 空海 4. 円珍

問8 平安時代中期、かな文字が普及し、日本の風土や生活感情が反映されるようになった、日本独自の文化を何という？

1. 天平文化 2. 鎌倉文化 3. 国風文化 4. 室町文化

問9 平安時代に国風文化が発展するきっかけとなった、中国へ使者を送る制度の終了を何という？

1. 遣唐使の廃止 2. 壬申の乱 3. 大化の改新 4. 承久の乱

問10 平安時代末期、武士として初めて任命された最高位の官職を何という？

1. 内大臣 2. 右大臣 3. 太政大臣 4. 左大臣

問11 平安時代初期に最澄が天台宗の総本山として延暦寺を建立した場所はどこ？

1. 東大寺 2. 清水寺 3. 比叡山 4. 高野山

問12 794年、奈良の平城京から都を現在の京都へ移し、新しい都を建設した天皇は誰？

1. 白河天皇 2. 聖武天皇 3. 桓武天皇 4. 嵯峨天皇

問13 平将門が乱の中で自らを称し、独立した政権を立てようとした称号は何？

1. 天皇 2. 上皇 3. 法皇 4. 新皇

問14 平安時代に発達し、日本の物語文学が発展するきっかけとなった、日本語の音を書き表す文字を何という？

1. 漢字 2. カタカナ 3. かな文字 4. ひらがな

問15 平安時代末期、東北地方を拠点として独自の勢力を築いた一族を何という？

1. 平氏 2. 奥州藤原氏 3. 蘇我氏 4. 源氏

答え合わせ・解説

問1	答え 4 摂政	摂政は天皇が幼少の際に代理として政治を行う役職であり、成人後は関白として補佐しました。藤原氏は一族から天皇の后を出すことでこの地位を世襲し、朝廷の政治を思いのままに動かしました。
問2	答え 1 厳島神社	平氏一族は、安芸国にある厳島神社を厚く信仰し、社殿を豪華に造り替えました。海に浮かぶようなその姿は、当時の建築技術の高さと、貴族化した平氏の優雅な文化を今に伝えています。
問3	答え 2 武士	武士は、自らの土地や一族の生活を守るために武装した、地方の豪族や有力者たちです。彼らは互いに団結して武士団を形成し、朝廷の命を受けて反乱の鎮圧などを担うことで、次第に力を蓄えていきました。
問4	答え 1 浄土教美術	浄土教美術は、阿弥陀如来や極楽浄土の華やかな世界を絵画、彫刻、建築に込めた芸術です。平等院鳳凰堂の内部にある華麗な障壁画や、阿弥陀如来坐像などは、当時の最高の職人や芸術家によって作られました。繊細な装飾や美しい色彩は、平安貴族の優雅で洗練された文化を象徴しています。
問5	答え 2 密教	密教とは、仏の教えを秘密の教えとして、師から弟子へと直接受け継ぐ仏教の一派です。空海は真言宗として、最澄は天台宗の中に密教を取り入れました。この教えは、曼荼羅（仏の世界を絵にしたもの）や、手で印を結び、真言（呪文）を唱えるといった修行を重視します。
問6	答え 2 桓武天皇	桓武天皇はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。これにより、旧来の仏教勢力との結びつきを断ち切り、新たな環境で朝廷の威信を取り戻そうとしました。
問7	答え 3 空海	空海は唐で密教を学び、帰国後に真言宗を開きました。密教とは、高度な修行と儀式を重んじる仏教の宗派です。彼は嵯峨天皇から高野山を下賜され、そこに金剛峯寺を建立して修行の拠点としました。多くの弟子を育て、学問の面でも大きな足跡を残しました。
問8	答え 3 国風文化	国風文化は、かな文字の発明によって大きく開花しました。ひらがなの普及により、和歌や日記、物語などの自由な表現が可能となり、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった作品が誕生しました。また、絵画では大和絵、建築では寝殿造など、日本の四季や風土に調和したスタイルが確立されました。
問9	答え 1 遣唐使の廃止	遣唐使の廃止は、中国の文化に直接頼る時代から脱却する転換点となりました。これにより、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が重視されるようになりました。
問10	答え 3 太政大臣	1167年に平清盛がこの地位に就きました。武士が朝廷の最高職に就くことは当時としては異例のことであり、平氏一族が貴族社会の中枢に深く入り込んだことを示しています。
問11	答え 3 比叡山	比叡山は平安京（京都）の鬼門の方角にあり、都の守護を担うという意味も持っていました。ここに開かれた延暦寺には多くの僧侶が集まり、仏教の研鑽を積む拠点となりました。
問12	答え 3 桓武天皇	桓武天皇は、こうした古くからの仏教勢力の強い影響を断ち切り、天皇中心の強力な政治を行うために遷都を断行しました。まず長岡京への遷都を試みましたが、工事の難航や不祥事により中止し、新たに平安京を建設しました。平安京は四神相応という風水思想を取り入れた計画的な都市として設計されました。
問13	答え 4 新皇	平将門は勢力範囲を支配下におくと、朝廷から認められない権力として、あえて「新皇」という称号を名乗りました。これは単なる地方の反乱を超え、中央政府である朝廷に対する真っ向からの挑戦を意味していました。
問14	答え 3 かな文字	かな文字は、漢字の一部を省略したり、崩したりして作られた文字体系です。平安時代になると、この文字を使って自分の感情や日常を表現することが貴族社会で流行しました。これにより、漢文のような堅苦しい文章だけでなく、感情豊かな日本語による文学が発展しました。
問15	答え 2 奥州藤原氏	奥州藤原氏は、豊かな金の産出や馬の取引、大陸との貿易などを通じて莫大な富を築きました。この富を背景に、平泉の地に壮大な寺院群を建立し、仏教文化を花開かせました。